

令和5年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	大和市柳橋児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター柳橋会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

I. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合 計	1日平均	開館日数 (日)
柳橋	58	1,165	207	174	1,604	5.2	308

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

月	事業名	開催期間	参加者数
4	1年生を迎える会(ゲーム・児童館の説明)	4/23	9人
随時	初心者卓球教室	随時	対象者
4・5	工作(母の日にちなんだオリジナルキーホルダーづくり)	4/27～5/14	12人
5	わくわくっ子クラブ(バルーンアート)	5/6	10人
5・6	工作(父の日にちなんだプラバンとメッセージカードづくり)	5/25～6/18	27人
6	わくわくっ子クラブ(グラスキャンドルづくり)	6/3	21人
	避難訓練	6/30	2人
6・7	七夕飾り・短冊作り	6/24～7/7	41人
7	七夕のつどい(七夕工作:灯ろう・カレーパーティー)	7/1	24人
	安心安全こども映画会	7/13	6人
7・8	工作(イルカの風鈴づくり)	7/25～8/9	19人
8	わくわくっ子クラブキャンプ	8/5	19人
	夏休み毎日工作(ブーメランかアクアビーズづくり)	8/9～8/31	20人
	夏休み卓球教室①	8/19	4人
	夏休み卓球教室②	8/26	3人
9	わくわくっ子クラブ(シャボン玉遊び)	9/2	12人
	工作(敬老の日にちなんだタッセルづくり)	9/6～9/17	27人
9・10	工作(ハロウィンお化けの壁面飾りづくり)	9/27～10/14	5人
10	工作(かぼちゃのオーナメントづくり)	10/11～10/22	17人
11・12	工作(クリスマススカイドームづくり)	11/30～12/14	24人

12	クリスマス会（引地台中ギター部による楽しい演奏会・パネルシアター・サンタクロースからのプレゼント）	12/3	40人
	避難訓練	12/20	2人
12・1	工作（オリジナル羽子板・ヨーヨーづくり）	12/26～1/14	17人
1	お正月遊び（伝承遊び）	1/4～20	4人
1・2	工作（鬼のお面づくり）	1/24～2/3	10人
2	節分会（豆まき）	2/3	6人
2・3	工作（ポーチづくり）	2/18～3/19	17人
3	わくわくっ子クラブ（紙飛行機で記録にチャレンジ）	3/2	1人
	お楽しみ会（お絵かきおせんべい）	3/20	10人

2. 収支決算概要

（単位：円）

収 入		支 出	
指定管理料 （市が指定管理者に払った金額）	2,976,033	雇用関連経費 （指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額）	2,760,766
雑入 （預金利息等）	0	事業費 （指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額）	87,531
収入計（①）	2,976,033	支出計（②）	2,848,297

収支決算	127,736
------	---------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和6年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和5年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行してからの運営について、工作や行事を通して昨年度より多くの児童が放課後の居場所として利用してもらえる結果になったことについて、評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
・様々な自主事業を実施するとともに、青少年指導員との共催で「わくわくっ子クラブ」を定期的開催しており、地域での青少年健全育成に努めています。 ・工作は、昨年度とは異なった内容を、毎月実施し、児童の創作意欲の向上と、児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・コロナ禍の影響により、昨年度開催できなかった夏休み卓球教室、わくわくっ子クラブキャンプを再開させ、子どもたちにとって有意義な時間となるように企画した点を評価します。
評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか
・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。
評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。